

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.143

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 Homepage お問い合わせフォームより

発行人:大宮 裕樹

〒062-0931

北海道札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40

KKR 札幌医療センター

診療技術部 臨床工学科

TEL 011-822-1811

第29回北海道臨床工学会開催

■ 学会長	大宮 裕樹 (KKR 札幌医療センター)
■ 学会事務局長	加藤 敏史 (石狩病院)
■ 会期	2018年10月14日(日)
■ 主催	公益社団法人北海道臨床工学技士会
■ 受付開始	8:45 ~
■ 開演	9:10 ~
■ 会場	北海道大学 学術交流会館 札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅から徒歩8分
■ 参加費	正会員:¥4,000 賛助会員:¥4,000 非会員:¥6,000 学生:¥1,000

2018年10月14日(日)第29回北海道臨床工学会が開催されます。

会員皆様の日常業務及び創意工夫、研究など多数の演題発表をお願い申し上げます。

また、参加を予定されている方や関係者の皆様におかれましては、内容変更や確定事項があるごとに「公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページ」を随時更新いたしますのでご確認ください。

時節柄、御多忙のことと存じますが多数の参加をお願い申し上げます。

公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース—目次—No.143

第29回北海道臨床工学会開催	1
「点検バン」北海道新聞に掲載	3
第2回Yボードミーティング終了	3
北海道心カテセミナー終了	4
北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展終了	4
第14回卒後教育セミナー終了	5
第9回北海道呼吸療法セミナー終了	6
RM ニュース	6
10月からの予定表	7
公益事業推進委員会だより	8
頑張れ！フレッシューズ	9
学会誌電子ジャーナル無料閲覧サービスのご案内	10

北海道臨床工学会へ参加される皆様へ

◆ ◆ ◆ 演者の皆様へご案内 ◆ ◆ ◆

- ご発表頂きます時間の少なくとも 30 分前までに必ず 2 階ホワイエ PC 受付にお越し下さい。試写と通過確認を致します。ファイルが開かないなどのトラブルを考え早めにお越し下さい。
- 今回、パソコン受付は 2 階ホワイエに統一されます。
- 一般演題発表者は発表予定時間 10 分前には次演者席にご着席下さい。
- 一般演題の口演時間は口演 6 分、質疑応答 2 分とします。時間厳守をお願いいたします。
- 一般演題発表中、5 分で 1 回、6 分で 2 回のチャイムを鳴らしてタイムリミットであることをお知らせします。
- 発表中のスライド操作は発表者に行って頂きます。音声の利用はできません。
- 発表データファイルを保存した USB メモリをご持参下さい。USB メモリは、突然認識しなくなるなどのトラブルがありますので、バックアップの USB メモリも準備しておくことを強く推奨致します。
- 事務局にてご用意しておりますパソコン (Windows) には PowerPoint 2010 以上の Version をインストールしております。上記環境にて正常に作動するデータのご用意をお願い致します。対応ソフトは Windows 版 Microsoft の Power Point のみです。
- Macintosh で作成したファイルは Windows で動作確認をしてからお持ち下さい。
- 動画は可としますが、事務局で用意する PC に動画再生に必要な Video codec が Install されていないなど、再生できないことが多々ありますのでご自分の PC を持参して下さい。
- ファイルの修正は PC 受付コーナーで対応できるようにします。
- 今年度は、優秀演題セッションを設け、審査員による審査を行い、会長賞の選定を行います。
- 北海道臨床工学技士会は、当日の発表時に利益相反 (COI) についての情報開示をお願いします。発表の最初か最後に利益相反自己申告に関するスライドを加えて下さい。

◆ ◆ ◆ 座長の皆様へご案内 ◆ ◆ ◆

- 座長の皆様は、ご担当セッション開始 30 分前までに「総合受付」に到着の旨をお知らせ下さい。担当セッション開始 10 分前には次座長席へご着席下さい。

- 担当セッションは必ず時間内に終了するよう格段のご配慮をお願い致します。

◆ ◆ ◆ 討論、質疑応答でのお願い ◆ ◆ ◆

- 質問は所属・氏名を述べたのち要点のみを簡潔に発言し、限られた時間内で有意義な討論ができるようご配慮下さい。

(重要!!) 演者の皆様へ 投稿原稿提出についてのお願い

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
広報委員会

今回、発表される一般演題を会誌に掲載いたします。掲載を希望される方で、学会当日に投稿原稿を提出されない方は、「投稿・執筆規定」に従い、下記の期日までに必ず投稿原稿を提出して下さい。提出は郵送でもメールでも受け付けます。

編集用に用意しているパソコン(Windows)には、MicrosoftのWord2010とPower Point2010に対応できるようにしています。原稿はWord、図表にはPowerPointを用い、上記環境にて正常に動作するデータでお送り下さい。また、図表は白黒に修正してからお送り下さい。

なお、公益社団法人北海道臨床工学技士会会誌は現在ISSN登録となっています。今回発表される内容を他学会にて全く同じ内容で論文投稿の予定がある場合は二重投稿とみなされますので、注意をお願いいたします。

記

締め切り期日：2018年12月15日（土）必着

原稿送付先：〒070-8610

北海道旭川市金星町1丁目1-65

市立旭川病院 臨床工学室

澤崎 史明 <Sawasaki Fumiaki>

Phone : 0166-24-3181(内線3905)

FAX : 0166-24-1125

Mail : f_sawasaki@city.asahikawa.hokkaido.jp

※後日投稿の意志に変更が生じた場合も、上記まで連絡をお願いいたします。

北海道心カテセミナー終了



心カテセミナーの様子

2018年7月22日(日) KKR 札幌医療センターにおいて北海道心カテセミナー2018～カテ業務のエキスパートになるために～が開催されました。今回は、心臓カテーテル業務をテーマとし、西日本を中心に広くご活躍されているカテーテル業務に従事している3名の講師の方々をお招きしました。最初に『基礎のお話』と題して、高原中央病院 臨床工学科 野崎先生より「患者さんがカテに辿り着くまで」「カテ室で見かける心電図」、『イメージングから見る!』と題して倉敷中央病院 臨床検査技術部 清水先生より「まる見え! PCI手技とデバイス」、『本当に怖い! 合併症』と題して滋賀県立総合病院 赤松先生より「知っていれば心強い! 経験から語る合併症」「任せろ! 臨床工学技士のための補助循環」という演題でご講演頂きました。

心臓カテーテル業務は患者さんがカテ室に入室する所から関わる事が多いですが、検査値や画像所見、どんな薬を服用しているかなど事前に収集しておくで役立つ情報や、検査治療中の心電図変化からどのように患者さんの状態を把握し安全に検査治療を行っていくか。IVUS と OFDI の原理から画像所見の読影、実際の症例から治療に生かすポイントや補助循環装置を扱う際のコツなど基礎的なことから臨床的なものまで非常に充実した内容でした。どの講演でも、先生方が実際に体験した症例やトラブル事例を画像所見や映像を用いて多く紹介され、とても理解し易く明日から活用できる知識ばかりでした。

最後に、本セミナーに講演に来て頂いた先生方、座長の労をお取り頂いた先生方、御協力頂いたメーカーの皆様に深く感謝申し上げます。

広報委員 小玉

北海道医療技術者団体連絡協議会 パネル展終了

去る2018年8月18日(土)、札幌駅前通地下広場チ・カ・ホにおいて北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展が開催されました。これは北海道医療技術者団体連絡協議会が主催し、医師や看護師以外の医療技術者団体を道民に対して広くアピールする場として毎年開催されています。

今年には北海道作業療法士会が幹事を務め、パネルの設営・撤収や、足を止めて下さった方への対応などを各団体と協力して行いました。またパンフレットの配布や、業務を紹介するDVDの上映も行い、それぞれ各団体・職種のアピールに努めていました。

訪れる方の中には若い方は少なく、高齢者の方々が多く、今回のパネル展で初めて臨床工学技士という職種を知ったという方がほとんどでした。そのような方々にこの職種を知っていただき、少しでも認知度を上げていくための良い機会となりました。

広報委員 本手



パネルの前で対応にあたる中谷公益委員長

北海道医療技術者団体連絡協議会

一般社団法人北海道放射線技師会
一般社団法人北海道臨床衛生検査技師会
公益社団法人北海道歯科技工士会
一般社団法人北海道歯科衛生士会
公益社団法人北海道理学療法士会
公益社団法人北海道作業療法士会
公益社団法人全国病院理学療法協会北海道会
公益社団法人北海道柔道整復師会
公益社団法人北海道鍼灸師会
公益社団法人北海道臨床工学技士会
一般社団法人日本義肢協会北海道支部

第14回卒後教育セミナー終了



講師の松本和彦先生

2018年9月2日(日)に吉田学園医療歯科専門学校におきまして、第14回卒後教育セミナーが開催されました。

講師として、会員の皆様にはお馴染みであるかと思いますが、名古屋市立大学大学院医学研究科非常勤講師の松本和彦先生にお願いし、午前中は「SAS、JMP、SPSS、Prismを使う前の探索的ビジュアル統計ソフト Pharmaco Basic 入門」、午後からは「投稿論文に見られる統計手法の誤り—Pharmacoならこう解く—」というテーマで講演をいただきました。

私自身8年ぶりの参加でありましたが、以前と違って、吉田学園のパソコン教室で、一人につき一台のパソコンがあたる素晴らしい環境と、1ヶ月限定で使用できるお試し版ソフトではありますがUSBメモリに入ったPharmacoソフトをいただき、とてもお得感のあるセミナーとなりました。

Pharmacoソフトも8年前とは比べ物にならないくらいに進化しており、とても使いやすい印象を受けました。統計ソフトには、JMPやSPSS、Rなど様々なものが世の中にありますが、Pharmacoは視覚的に捉えやすく、初心者でも使いやすいソフトとなっています。視覚的に捉えやすいので、外れ値を考えるときにとても役に立ちます。マウスのクリックだけで、外れ値を入れたり外したりできるので、とても簡単です。また、

ソフトの中に医療系のテーマをもとにした例題がついているので、初心者でも迷わず安心して統計手法を選ぶことができるようになっているのが魅力だと思います。

講義では、実際にソフトを使いながら進められていくので分かりやすく、また操作の遅れている人がいないか気にされながら話をしてくださるので、これから研究で統計を使ってみようという若い方にはぴったりのセミナーだったと思います。更に、Pharmacoのソフトは海外の学会でも認められた統計ソフトでありますので、海外の論文に挑戦してみたいという積極的な方にもおすすめです。

残念ながら今回のセミナーに参加できなかったかたでも、Pharmacoのソフトはお手頃な価格で販売されていますので、興味のある方は一度ホームページをご覧になるのもいいかもしれません。卒後教育セミナーは来年も開催される予定ですので、是非つぎの機会には多くの方に参加していただければと思います。

ご多忙の中、講演をいただきました松本先生、参加された皆様にこの場を借りて感謝申し上げます。

広報委員 澤崎



卒後教育セミナーの様子

第9回北海道呼吸療法セミナー終了



教育講演Ⅱの講師 高橋幸子先生

2018年9月16日(日)北海道自治労会館において、第9回北海道呼吸療法セミナーが開催されました。本セミナーは、震災の影響が交通などに残るなか多くの臨床工学技士、看護師、理学療法士の方に御参加頂きました。

今回は4名の講師をお招きし、午前は教育講演Ⅰ「意外と知らない肺保護」と題して神奈川県済生会横浜市東部病院 臨床工学部主任の森實雅司先生、教育講演Ⅱ「自発呼吸の補助について」と題して名古屋掖済会病院 元臨床工学技士長の高橋幸子先生よりご講演頂きました。午後からは教育講演Ⅲ「急性期NPPVの再考」と題してフィリップス・レスピロニクス合同会社の木下亮雄先生、教育講演Ⅳ「経肺圧を意識した人工呼吸器管理」と題して東京医科大学 臨床工学部の上岡晃一先生よりご講演頂きました。

内容は、ARDSに対する肺保護や前回に引き続き経肺圧を利用した呼吸管理など非常に充実したものでした。その中で、教育講演Ⅱでは各社人工呼吸器の自発換気補助のモードや自動Weaning機能において器械側が行うモニタリングの特性や使い分けが解説され皆さん真剣に聴講されていました。また、どの講師の方も人工呼吸器の各種モードへの理解はもちろん、使用している患者へのアセスメントやモニタリングを重視されており肺への障害を避けるため経肺圧や呼吸仕事量、PVループなど各種モニタリング波形などから患者毎の呼吸状態を把握し、患者に同調した換気設定を行うことが重要であると説明

されていました。

今回の呼吸療法セミナーでは人工呼吸器管理の第一線で活躍されている先生方をお招きし、最新の話題や明日から使えるテクニックを学びました。人工呼吸器業務にこれから携わる方やより実践的な知識を得たい方にも今後ぜひ参加して欲しいと思います。

最後に、本セミナーに講演に来て頂いた先生方、座長の労をお取り頂いた先生方、御協力頂いたメーカーの皆様に深く感謝申し上げます。

広報委員 小玉

◆RM ニュース◆

<滅菌不十分な器具で手術>

静岡県の病院で5月、十分に滅菌処理されていない器具で、手術が行われていたことがわかった。

病院によると、滅菌装置が作動していなかったことが原因で、使用前の確認も不十分だった。感染症などの被害は確認されておらず、病院は患者に説明、謝罪し、チェックの手順を改めるなどの再発防止策を取った。

病院によると、手術で使用する器具類は洗浄、乾燥後に高圧蒸気滅菌装置で処理される。病院内に設備があり、委託会社が一連の工程を担当している。

滅菌処理を終えると、目印として器具を包む袋や箱のラベルの色が変わるが、5月28日朝、看護師が一部で色が変わっていないことに気づいた。調査したところ、23日、複数ある装置のうち、一時的に作動していない装置があったという。

滅菌が不十分なまま使われたのは、鉗子(かんし)などの手術器具4セット、器具を置く際にかぶせるなどする布2枚、手術室の照明の角度を変えるための交換式の取っ手15点。病院は、手術器具を使用した患者4人と、布などを使用した可能性がある患者74人の計78人に、事情を説明し、謝罪した。

病院は、これまでに75人の患者に血液検査を行ったが、感染症などは確認されていない。今後も一定期間、患者の経過観察を続けていくという。

2018年6月13日 配信：読売新聞

<医療ミスで70代男性死亡>

北海道・苫小牧の病院は18日、今月上旬に女性看護師2人が脳疾患で入院中の70代男性のたんを吸引する際、機器の使い方を誤り、男性が死亡したと明らかにした。

病院によると、男性はたん吸引のため、のどを切開して気管にチューブを挿入していた。看護師2人は吸引に先立ち、粘り気の強いたんを軟らかくするため、空気を気管に送り込む吸入を実施。この際、誤ってチューブの吸排気口をふさぐ形で吸入器を装着した。

2人は2分ほど病室を離れた後、異常音に気付き、医師が救命措置をしたが、男性は約2時間後に死亡した。死因は、排気できない状態で吸入を続けたことによる急性呼吸不全とみられる。

病院側は過失を認め、苫小牧署や第三者機関「医療事故調査・支援センター」に届け出た。

署によると、業務上過失致死の疑いもあるとみて調べている。

2018年6月19日 配信：共同通信社

<チューブ誤接続で患者死亡>

高齢者の医療、介護、リハビリテーションが専門の奈良県の病院で2016年8月、看護師が80代の男性患者を入浴させる際、酸素吸入チューブの接続の仕方を間違えた結果、患者の容体が急変、死亡していたことが16日、分かった。

病院は共同通信の取材に「入浴時の安全管理体制に不備があり、ミスが重なった。責任を感じている」とコメント。警察に通報し、関係者が事情を聴かれたとしている。既にマニュアルや研修体制の整備など再発防止策を講じている。

病院の説明によると、看護師が酸素吸入チューブを使用した際、男性と酸素ボンベとの間に「T字コネクター」と呼ばれる器具を配置するのを怠ったため、空気が一方的に流れ、男性は肺の換気をできない状態になった。

15年に転院してきた男性は誤嚥（ごえん）性肺炎を繰り返すようになり、16年6月から気道確保

のため、鼻からチューブを入れる措置がとられた。看護師は入浴させる際、鼻に挿管するチューブと酸素吸入チューブを使って、そのままつなげていた。

2018年8月17日 配信：共同通信社

10月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

2018年10月21日(日)
「第19回北海道透析技術談話会」
会場 北海道学術交流会館
http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/h30files/19th_hokkaido_touseki_gizyutsu_danwakai.pdf

2018年10月28日(日)
「第13回医療安全セミナー
医療現場のモニタリングを活用しよう！」
会場 KKR 札幌医療センター3階会議室
http://hcea.umin.ac.jp/info_study/2018/13th_safety.html

2018年10月28日(日)
「平成30年度MDIC更新ポイント取得セミナー」
会場 北海道情報大学 松尾記念館2F 講堂
http://hcea.umin.ac.jp/files/pdf/h30files/mdic_koushin_seminar2018.pdf

2018年11月30日(金)～12月1日(土)
「第53回日本高気圧・潜水医学学術総会」
会場 旭川市大雪クリスタルホール
<http://www.k-cav.com/jshum53asahikawa/>



公益事業推進委員会だより K-Palette【ケーパーレット】

#10

「AED日常点検インストラクター講習会を終えて」

公益事業推進委員会 副委員長 清水赤十字病院 村谷 拓

医療機器の正しい取扱いを伝え、臨床工学技士の知名度向上のために2011年1月からはじめたAED日常点検講習会も、今では70回を超え道内各地の様々な事業所で行っています。

今後のさらなる活動に備え、新委員やサポートメンバーの皆様を対象として2018年8月26日(日)に札幌医科大学教育研究棟で「AED日常点検インストラクター講習会」を開催しました。

前半は、事業所訪問からAED講習までの一連の流れを公益事業推進委員や内部理事のご協力のもと実演させて頂きました。後半では、AED装置の詳細をAEDメーカー7社のご協力のもとグループワーク形式で確認しました。

実演に関しては、訪問時事業所との対応について「どこまでの範囲でお願いすべきなのか？」などの、現場に即した具体的な質問を頂いたことから受講者の関心の高さが伺えたほか、AED装置の説明では、新機種を紹介や管理方法を含め、改めて知識を整理する貴重な時間になったと感じました。

今後も、公益事業推進委員会活動を通じて多くの仲間たちと一緒に、地域の方々に貢献できる一員として、また地域に必要とされる臨床工学技士を目指し活動を続けていきたいと思えます。

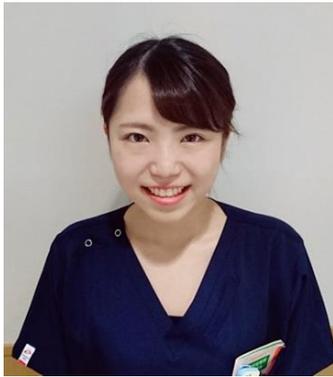
最後になりましたが、参加者の皆様、協力者の皆様へお礼を申し上げますとともに、北海道臨床工学技士会の皆様のご理解・ご協力を頂ければ幸いです。



AED日常点検講習の申込みは公益社団法人北海道臨床工学技士会ホームページ
(<http://hcea.umin.ac.jp>) より受け付けています。

頑張れ！フレッツヤーズ

このコーナーは、2017年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。今回は、2018年3月に吉田学園医療歯科専門学校を卒業し現在、北海道大学病院にて勤務中の室谷黎奈さんです。



北海道大学病院

室谷 黎奈さん

私は2018年3月に吉田学園医療歯科専門学校臨床工学科を卒業し、4月から北海道大学病院に勤務しています。入社当初はとても緊張していたため何をやるにも気を張っていましたが、現在は少しずつほぐれてきて適度な緊張感で勤務しています。

入社してから約2カ月間はME機器管理センターで医療機器管理業務に携わり、臨床工学技士としておさえておかなければいけない医療機器についての知識や点検法などを習得しました。その2カ月間の医療機器管理業務があったからこそ、医療機器の知識がついた上、2カ月遅れて臨床業務を開始したため学生時代の同期と集まると自分自身が奮い立たされ頑張らなければという気持ちに駆られます。

現在は透析業務と内視鏡業務に従事しています。本院の透析室は入院患者さんのみで外来患者さんはおらず、意識が無い場合や人工呼吸器、様々な薬剤が繋がっていることも珍しくありません。そのため急変する頻度も高く、先輩方を見ていると迅速且つ正確な対応が求められることを痛感し

ています。現段階では日々の業務を覚えています。いずれはそのような状態に対応できることを目標に掲げています。内視鏡業務においては初めて見るもの、初めて知ったことが多くほぼ一からのスタートです。そのため覚えることがたくさんありますがやりがいを感じ一生懸命頑張っています。

臨床工学技士として働き始めて数カ月が経過しましたが、学生時代における勉強量が足りなかったこともあり日々自分自身の未熟さを感じています。ですがその様な中でも教わったことが初めて一人でできた時の達成感、やりがいが私自身の原動力になっています。失敗することも多々ありますが、先輩方に支えられながら何度も復習やイメージトレーニングを重ねて改善できるようにしています。

私は将来何らかの分野で卓越しているSpecialistになりたいと考えています。具体的な業務に関してはまだ決まっていませんが、研修中に掘り下げたい分野を見つけていくためにも一日一日を大切に常に向上心を持って頑張っていきます。



《学会誌電子ジャーナル無料閲覧サービスご案内》

「北海道臨床工学技士会誌」に掲載された過去の論文を電子化し株式会社メテオが提供する文献検索サイト、メディカルオンラインで閲覧することが可能です。

©2018 年度アカウントについて(2019年3月末日まで有効)

学会様専用 ID : 1100007199-03

パスワード : 2wm4c6ix

貴会雑誌名① : 北海道臨床工学技士会誌

貴会雑誌 URL : <http://mol.medicalonline.jp/archive/select?jo=ey2rinsy>

雑誌 URL へ接続しますと、北海道臨床工学技士会誌のアーカイブ画面へ遷移します。

画面右側の会員認証欄に上記 ID/PW を入力後、会誌の閲覧が可能となります。

AsahiKASEI

ABH Series

- 実績のあるポリスルホン膜を採用
- 優れた生体適合性及び抗血栓性



血液透析濾過器
旭中空糸型ヘモダイヤルター
ABH-F
中空糸内径の拡大により、
血液側圧力損失を低減。
高度管理医療機器
承認番号 22006BZX00490000

血液透析濾過器
旭中空糸型血液透析濾過器ABH-PA
ABH-PA
中空糸と容器設計の最適化。
2.6m²まで幅広い膜面積のラインナップ。
高度管理医療機器
承認番号 22900BZX00045000

旭化成メディカル株式会社
<http://www.asahikasei-medical.co.jp>
No.2017-5-1790



高リン血症治療剤

処方箋医薬品^注 注)注意-医師等の処方箋により使用すること。

薬価基準収載



ピートル[®] チュアブル錠 250mg 500mg

P-TOL[®] Chewable Tab.

スクロオキシ水酸化鉄(sucroferri oxyhydroxide)チュアブル錠

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売元 キッセイ薬品工業株式会社

松本市芳野 19 番 4 8 号 <http://www.kissei.co.jp>
 <資料請求先> <すり相談センター 東京都中央区日本橋室町1丁目8番9号
 TEL 03-3279-2304 フリーダイヤル 0120-007-622

PT3012KD
2017年1月作成

改正医療法
施行規則対応

ME機器管理システム
Me-ARC

ME機器チェックと
機器管理システムが連動!

日本語ソフトとの連携で、

簡単・効率的にテスト!

院内ME機器チェックとME機器管理システムが連動し、保守・点検時に測定した各種データやレポートを、自動的に電子データにて管理!同一システム上で精度管理と機器管理が行えます。

- 機器の運用情報を可視化
- オートテスト・自動判定機能
- タグを使用し簡単所在管理
- テストレポート自動作成・管理

METS 株式会社 メッツ TEL (03) 3888-8445
 〒120-0036 東京都足立区千住仲町1-7 sales@mets-tokyo.jp www.mets-tokyo.jp



Johodai

進化する情報大で、未来を拓こう。

あなたを大切に育てる e 環境
北海道情報大学
 〒069-8585 北海道江別市西野幌59-2 TEL 011-385-4411(代表)
 お問い合わせは [広報室] ☎ 0120-83-4411
 北海道情報大学 オープンキャンパス
www.do-johodai.ac.jp/ 検索 参加申込みQRコード

- 経営情報学部
- 先端経営学科 ●デジタルビジネス専攻
 - システム情報学科 ●システム情報専攻
 - 宇宙情報専攻
- 医療情報学部
- 医療情報学科 ●診療情報管理専攻
 - 臨床工学専攻
- 情報メディア学部
- 情報メディア学科 ●メディアデザイン専攻
 - メディアテクノロジー専攻



臨床工学技士コースのスタートに合わせ
最新環境の「臨床工学実習室」誕生!





SafeTech®

セーフテック®輸液ポンプ
FP-N11

安全と使いやすさを、その先へ

「クランプリング®システム」 「3Dプレス®方式」 カラー大画面を採用

医療機器分類:高度管理医療機器(クラスⅢ)、特定保守管理医療機器 医療機器承認番号:22600BZX0005000 一般的名称:汎用輸液ポンプ

問い合わせ先 **NIPRO** 発売 ニプロ株式会社 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

NORITSU PRECISION 製造販売 ノーリツプレジジョン株式会社 和歌山市梅原579-1
2017年5月作成

あなたの勇気で救える命 ~AED(自動体外式除細動器)~

AED(自動体外式除細動器)は、音声ガイダンス指示に従うだけで、初めての人にも簡単に使えるように設計されています。駅構内、学校、病院、社会福祉法人、商業施設など様々な場所にAEDは設置されています。もしもの時の救える命のために、AEDをご検討の方はお気軽にお問い合わせ下さい。



最新医療機器と最新知識の提供を目指す

株式会社アクティブメディカル 代表取締役 山田 誠

〈本社〉〒113-0024 東京都文京区西片1丁目15番15号KDX春日ビル5階

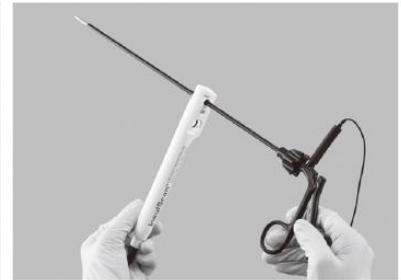
TEL 03-5842-3015 FAX 03-5842-3016

〈支店〉西東京/横浜/千葉/埼玉/札幌/旭川/帯広/室蘭/釧路 URL <http://www.actg.co.jp/medical/>

鉗子絶縁不良検知器

InsulScan™

- 持ち運び可能なポータブルタイプ
- 充電式バッテリー駆動
- 3mm、5mm及び10mm径鉗子に対応



株式会社 **アムコ** www.amco.co.jp
本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-9-7 TEL. 03 (3265) 4263 FAX. 03 (3265) 2796

TORAY

Innovation by Chemistry

生体適合性を追求した
モイストタイプ ヘモダイアフィルター。



トレライト®HDF NVF

販売名:トレライト®HDF
一般的名称:血液透析濾過器
医療機器承認番号:22800BZX00367000
医療機器区分:高度管理医療機器

販売業者 **東レ・メディカル株式会社** <http://www.toray-medical.com/>
製造販売業者 **東レ株式会社**

JMSレーザ血流計 ポケットLDF POCKET LDF

いつでも手軽に、正確な測定を

レーザ血流計は、非観血的に人体組織(皮膚表面)下の微小循環(細動脈、細静脈、毛細血管)の皮膚灌流(血流量)を計測するものです。

製造販売業者
株式会社 ジェイ・エム・エス <http://www.jms.cc/>



- 非侵襲的** 手の指先、耳朶、皮膚表面などで測定可能
- 小型** 手のひらサイズ
- 無線** Bluetooth搭載



販売名:ポケットLDF 管理医療機器/特定保守管理医療機器
医療機器承認番号:22600BZX00424000

お問い合わせ先 TEL 03-6404-0602

〒140-0013 東京都品川区南大井1丁目13番5号 新南大井ビル
2017.05.JMS

医療機器・理化学機器・福祉機器

WISM 株式会社 ムトウ

取扱品目 医療機器・理化学機器・ME 機器・病院設備・放射線機器・メディカルコンピューター
貿易業務・歯科機器・福祉機器・介護用品

代表取締役社長 田尾延幸

札幌本社(北海道事業本部) / 札幌市北区北11条西4丁目1番15号・☎(011)746-5111

針刺し防止機能付き止血弁内蔵透析用留置針

Happycath C-PRO

- フルカバータイプのセーフティ機能
- 多数回弁の採用により、
圧迫止血や鉗子を用いたクランプ操作が不要



メディキット株式会社

発売元: メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-13-2 TEL.03-3839-0201
製造販売元: 東野メディキット株式会社 〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-8 TEL.0982-53-8000
<http://www.medikit.co.jp/> <http://www.togomedikit.co.jp/>

医療機器承認番号: 21400BZZ00343000 販売名: ハッピーキャスV

経験と実績から生まれたME機器管理システム

HCSMA Version 7

Hospital Management System



WEBアプリケーション フルモデルチェンジ

位置情報検知システム

HOSBE



位置情報検知システムは、Beaconから送信されるBLE (Bluetooth Low Energy) の電波をレシーバーで受信することで位置情報を把握するシステムです。

株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL:011-644-6100 FAX:011-644-6101



いのちに携わる
責任と使命



日機装株式会社 本社 〒150-6022 東京都渋谷区恵比寿4丁目20番3号 TEL.03-3443-3751 FAX.03-3473-4965

北海道臨床工学技士会ニュース

広報担当	旭川リハビリテーション病院	臨床機器管理課	木村吉治
	北農会 恵み野病院	臨床工学科	日沖一木
編集委員	旭川赤十字病院	臨床工学課	奥山幸典
	旭川医療センター	診療統括部	本手 賢
	旭川医科大学病院	診療技術部	南谷克明

印刷

株式会社 プリントパック

<http://www.printpac.co.jp/>